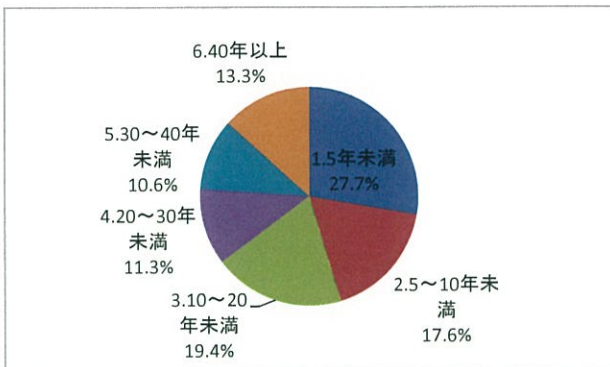


弁護士人口と法曹養成に関するアンケート 集計・グラフ

法曹人口問題全国会議(2017. 9. 13~10. 5実施)
 日弁連所属弁護士アンケート調査書送達人数 35893人
 アンケート回答数 2879人 回答率 8.0%

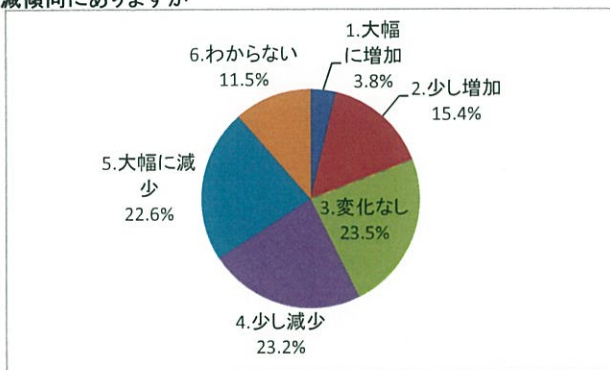
問1 あなたの弁護士歴

	件数	%
1.5年未満	794	27.7%
2.5~10年未満	504	17.6%
3.10~20年未満	556	19.4%
4.20~30年未満	325	11.3%
5.30~40年未満	305	10.6%
6.40年以上	381	13.3%
合計	2865	100.0%
無回答	14	



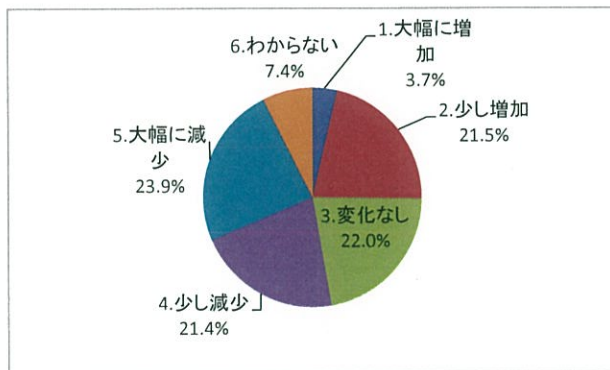
問2 あなたの法律相談及び受任の件数は、ここ数年、どのような増減傾向にありますか

	件数	%
1.大幅に増加	108	3.8%
2.少し増加	438	15.4%
3.変化なし	668	23.5%
4.少し減少	660	23.2%
5.大幅に減少	642	22.6%
6.わからない	328	11.5%
合計	2844	100.0%
無回答	35	



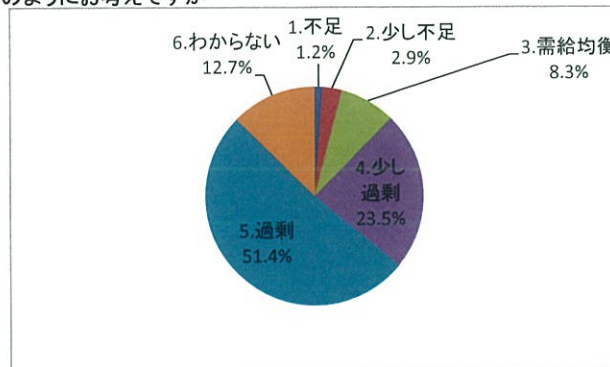
問3 あなたの所得は、ここ数年、どのような増減傾向にありますか

	件数	%
1.大幅に増加	107	3.7%
2.少し増加	615	21.5%
3.変化なし	628	22.0%
4.少し減少	611	21.4%
5.大幅に減少	682	23.9%
6.わからない	212	7.4%
合計	2855	100.0%
無回答	24	



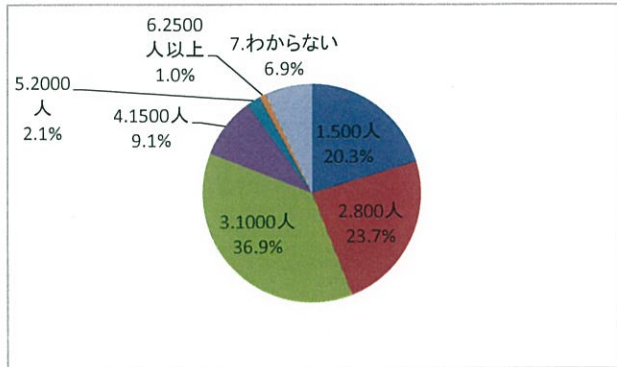
問4 あなたが所属する弁護士会の弁護士人口の過不足につき、どのようにお考えですか

	件数	%
1.不足	35	1.2%
2.少し不足	83	2.9%
3.需給均衡	239	8.3%
4.少し過剰	673	23.5%
5.過剰	1472	51.4%
6.わからない	363	12.7%
合計	2865	100.0%
無回答	14	



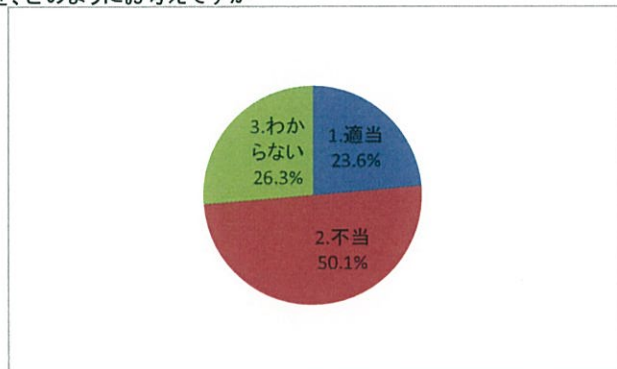
問5 司法試験の年間合格者は、何人程度が適正だとお考えですか

	件数	%
1.500人	580	20.3%
2.800人	679	23.7%
3.1000人	1056	36.9%
4.1500人	259	9.1%
5.2000人	60	2.1%
6.2500人以上	29	1.0%
7.わからない	196	6.9%
合計	2859	100.0%
無回答	20	



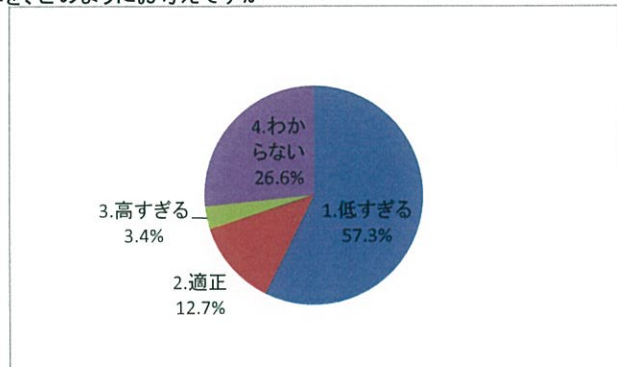
問6 予備試験合格者が少数(合格率4%弱)に抑制されていることを、どのようにお考えですか

	件数	%
1.適当	674	23.6%
2.不当	1429	50.1%
3.わからない	749	26.3%
合計	2852	100.0%
無回答	27	



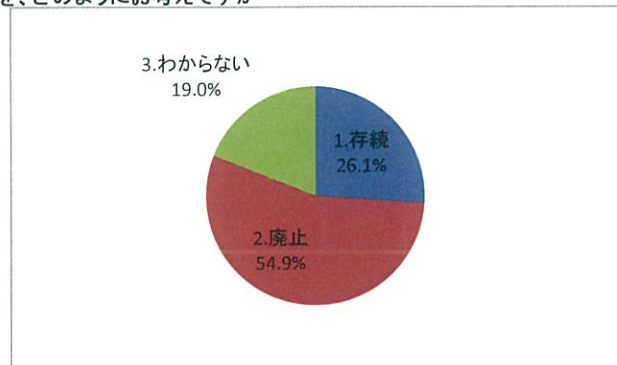
問7 法曹の質の確保を考えると、現在の司法試験の合格判定基準を、どのようにお考えですか

	件数	%
1.低すぎる	1641	57.3%
2.適正	364	12.7%
3.高すぎる	97	3.4%
4.わからない	762	26.6%
合計	2864	100.0%
無回答	15	



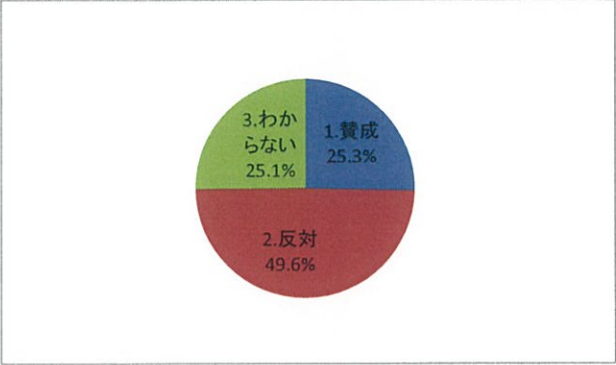
問8 現在の法科大学院(司法試験に特化し受験資格付与)の存廃を、どのようにお考えですか

	件数	%
1.存続	744	26.1%
2.廃止	1569	55.0%
3.わからない	542	19.0%
合計	2855	100.0%
無回答	24	



問9 司法試験受験資格の制限を撤廃(予備試験も廃止)したうえで、「法科大学院」を残すことを、どのようにお考えですか

	件数	%
1.賛成	720	25.3%
2.反対	1412	49.6%
3.わからない	713	25.1%
合計	2845	100.0%
無回答	34	

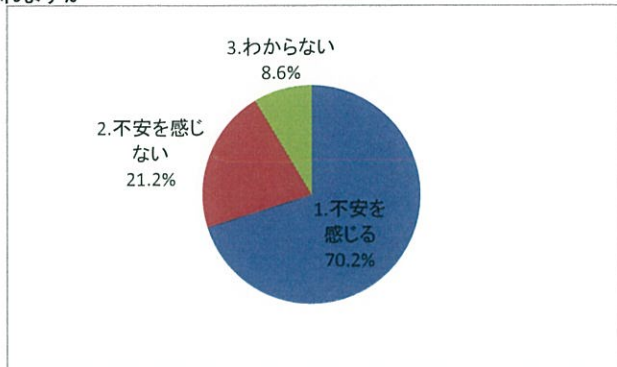


弁護士人口と法曹養成に関するアンケート 集計・グラフ

法曹人口問題全国会議(2017. 9. 13~10. 5実施)
 日弁連所属弁護士アンケート調査書送達人数 35893人
 アンケート回答数 2879人 回答率 8.0%

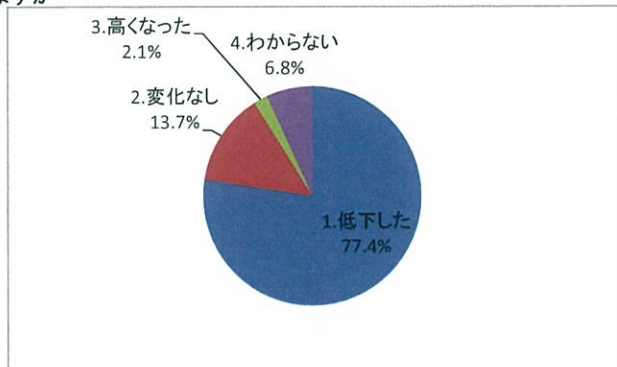
問10 あなたの弁護士としての経済力につき、どのように感じておられますか

	件数	%
1.不安を感じる	2000	70.1%
2.不安を感じない	606	21.2%
3.わからない	246	8.6%
合計	2852	100.0%
無回答	13	



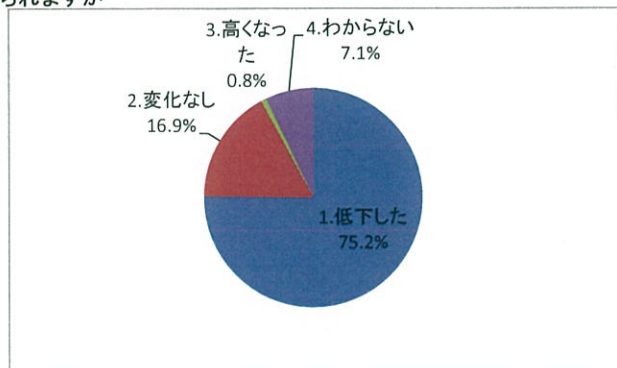
問11 弁護士の職業的環境と魅力につき、どのように感じておられますか

	件数	%
1.低下した	2209	77.4%
2.変化なし	390	13.7%
3.高くなった	61	2.1%
4.わからない	193	6.8%
合計	2853	100.0%
無回答	12	



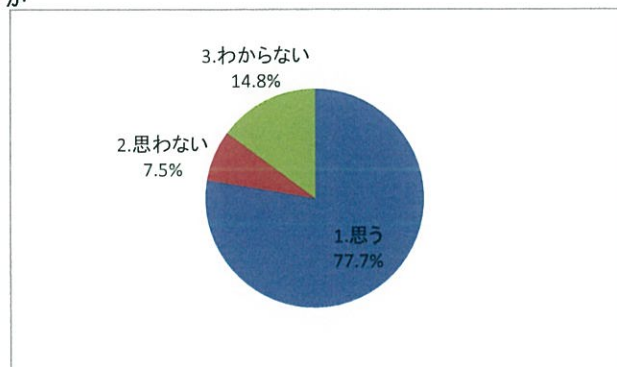
問12 弁護士の社会的地位及び信頼度につき、どのように感じておられますか

	件数	%
1.低下した	2151	75.3%
2.変化なし	482	16.9%
3.高くなった	22	0.8%
4.わからない	203	7.1%
合計	2858	100.0%
無回答	7	



問13 優秀で有為な人材の法曹離れが、発生していると思われませんか

	件数	%
1.思う	2218	77.7%
2.思わない	214	7.5%
3.わからない	422	14.8%
合計	2854	100.0%
無回答	11	



問14 優秀で有為な人材の法曹離れの原因として、影響が大きいと考える原因をお選び下さい

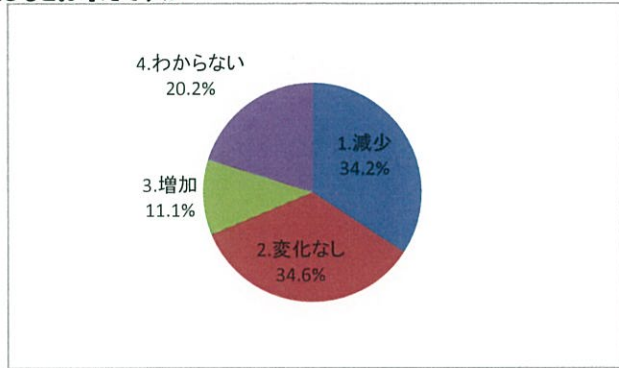
	件数	%
1.我が国では弁護士の需要が少なく、拡大もなかった	981	36.0%
2.司法試験合格者の増員による弁護士人口の過剰とそれに伴う経済力の低下	2161	79.4%
3.就職難	1150	42.2%
4.就職条件の悪化、OJT不足	940	34.5%
5.法科大学院制度の創設	663	24.3%
6.予備試験の合格者数の制限	134	4.9%
7.司法試験の合格者数と合格率が、計画通りの増員や高率でなかったこと	275	10.1%
8.給費制の廃止	1062	39.0%
9.弁護士の仕事のやりがい知られていないこと	239	8.8%

(無回答=142、N値=2723)



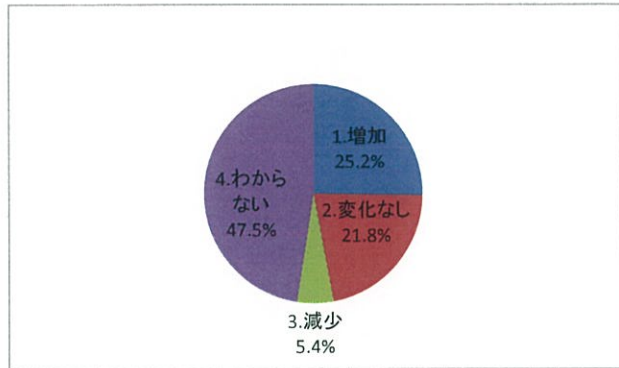
問15 司法試験の年間合格者を段階的に減員し、合格を難しくした場合に、差し当たって当面は、法曹志願者の数に、どのような影響が生じるとお考えですか

	件数	%
1.減少	972	34.2%
2.変化なし	982	34.6%
3.増加	315	11.1%
4.わからない	573	20.2%
合計	2842	100.0%
無回答	23	



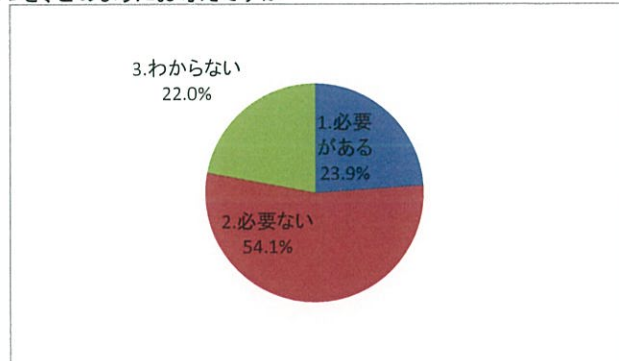
問16 「法科大学院入学の競争倍率2倍以上という要件、司法試験の累積合格率70%以上にする、合格者1500人を下回らせない」という現在の政策の下で、今後、法科大学院志願者が増加に転じた場合、司法試験合格者の数に、どのような影響が生じるとお考えですか

	件数	%
1.増加	708	25.2%
2.変化なし	612	21.8%
3.減少	152	5.4%
4.わからない	1332	47.5%
合計	2804	100.0%
無回答	61	



問17 弁護士増加政策(司法試験合格者1500人を下回らせない)が変更されない状況で、日弁連が、法科大学院志願者増加の取り組みを行う必要性につき、どのようにお考えですか

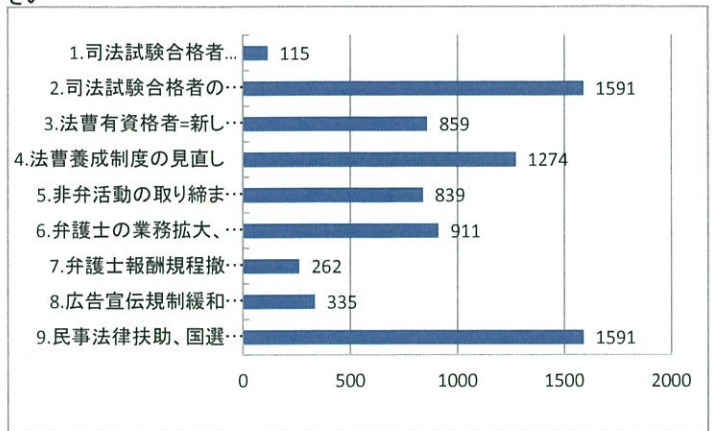
	件数	%
1.必要がある	677	23.9%
2.必要ない	1528	54.0%
3.わからない	623	22.0%
合計	2828	100.0%
無回答	37	



問18 弁護士会が取り組む必要性が大きいと考える活動をお選び下さい

	件数	%
1.司法試験合格者1500人を下回らないための活動(志願者の増加、合格率の引き上げ)	115	4.1%
2.司法試験合格者の減員を求める活動	1591	57.1%
3.法曹有資格者=新しい弁護士像(企業内弁護士、公務員、海外など)を拡大する活動	859	30.8%
4.法曹養成制度の見直し	1274	45.7%
5.非弁活動の取り締まりの活動	839	30.1%
6.弁護士の業務拡大、そのための広報と宣伝	911	32.7%
7.弁護士報酬規程撤廃の見直し	262	9.4%
8.広告宣伝規制緩和の見直し	335	12.0%
9.民事法律扶助、国選弁護の報酬基準を引き上げるための活動	1591	57.1%

(無回答=78、N値=2787)



問19 会費の金額の現状と減額について、どのような希望をお持ちですか

	件数	%
1.現状維持	731	26.8%
2.2割減	564	20.7%
3.3割減	504	18.5%
4.4割減	56	2.1%
5.5割減	875	32.1%
合計	2730	100.0%
無回答	135	

